



西日本唯一の枝垂栗が自生している地  
**枝垂栗自生地〔二カ所〕**



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	しだれぐりじせいち
所在地	新庄村戸島
指定年月日	昭和31年4月1日
解説	枝垂栗とは枝が非常に長く伸び、下垂してそれに実がなる特性を有している珍しい栗である。長野県、岐阜県のものが有名で国指定の天然記念物になっているが、西日本で自生しているのは当地のみである。昔、後鳥羽上皇がここに立ち寄り、栗を望んだところ、栗の枝が垂れ下がってきたという伝説がある。
アクセス方法	「道の駅」メルヘンの里新庄から車で10分
公開状況	自由 / 問:新庄村役場 0867-56-2626
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場 </span> <span>トイレ </span> </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	枝垂栗自生地〔ニカ所〕
よみかた	しだれぐりじせいち
しょざいち (所在地)	新庄村戸島
していしたひ (指定した日)	昭和31年4月1日
せつめい	シダレグリとは、枝(えだ)がとても長くのびてたれさがている、めずらしいクリの木です。シダレグリは長野県(ながのけん)や岐阜県(ぎふけん)のものが有名(ゆうめい)ですが、西日本で自然(しぜん)に生えているのは、ここだけです。